

小径の穴あけに威力を発揮します!!

α-model (アルファモデル)

■工具シリーズ ミニ電動ドリル「清吉ドリル」(セイキチドリル)



「清吉ドリル」は小径(φ0.2~0.6mm程度)の穴あけ専用設計されたミニ電動ドリルです。

従来の電動ドリルや切削用電動工具は、ドリル刃を保持する部分がチャック構造となっており、φ0.5mm以下のドリル刃を取り付けた際は正確に中心へ固定することが困難です。そのためドリル刃が偏心してドリル刃の径での穴あけが正しくできないだけでなく、ドリル刃に無理な力がかかり折れてしまうことがあります。

「清吉ドリル」はそれらの問題点を解決するためにドリル刃の固定部を精度の高いシンプルな構造にしました。また、回転時のドリル刃のブレを最小にするためにドリル刃の軸が太い「ルーマー形ドリル」を採用しています。

ON/OFF用のスイッチは握ったときに自然に人差し指が触れるところに設置。押しているときだけ回転する安全設計です。



■No.3021「清吉ドリル」 5,600円(税抜き)

[仕様]

- ・電源/DC3V
- ・回転数 6,400rpm(適正負荷時)
- ・貫通能力/プラ板 t1.2mm 真鍮板 t0.5mm (ドリル刃φ0.6mm使用時)
- ・対応電源プラグ/DCプラグ(φ5.5×2.1mm)
※センター(+)
極性
- ・外形/全長 105mm、直径 23mm(最大突起含まず)
- ・重量/42.5g(本体のみ)

[付属品]

- ・電源プラグ付き電池ボックス(単三電池×2用)
- ・ドリルホルダー



■No.3012 専用スタンド 7,500円(税抜き)

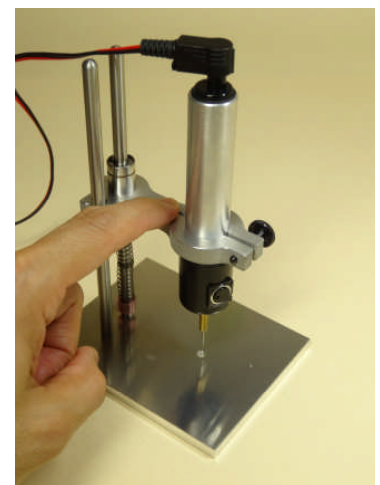
[仕様]

- ・外形/幅 81mm、奥行 101mm、高さ 146mm
- ・重量/237g
- ・スタンドの台面上から高さ約 50mm までの間で穴あけ可能。
- ・材質/台、ホルダー部:アルミ、
支持棒:ステンレス、
摺動部/ベアリング入りパイプ

※「清吉ドリル」と組み合わせることで簡単に垂直方向の穴あけが可能です。



←ホルダー部分を「清吉ドリル」につけたままでの使用も可能です。写真のようにグリップが安定して使いやすくなります。

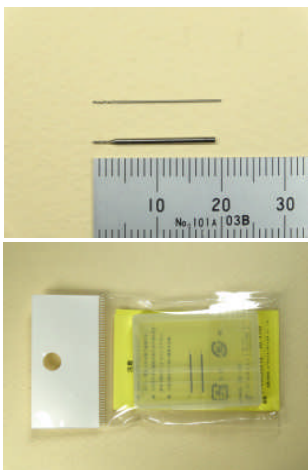


↑支持棒に差し込むホルダー部のパイプ内側にはベアリングが入っているため、軽い力でドリルを上下に動かすことができます。



■ドリル刃 (ルーマー形/軸径φ1.0mm)

No.3020	φ0.2 mm	(2本入り)	1,500円(税抜き)
No.3025	φ0.25mm	(2本入り)	1,500円(税抜き)
No.3030	φ0.3 mm	(2本入り)	1,400円(税抜き)
No.3035	φ0.35mm	(2本入り)	1,400円(税抜き)
No.3040	φ0.4 mm	(2本入り)	1,400円(税抜き)
No.3050	φ0.5 mm	(2本入り)	1,400円(税抜き)
No.3060	φ0.6 mm	(2本入り)	1,400円(税抜き)



←ルーマー形ドリル刃(下)と一般的な形状(刃の径と軸径が同じ)のドリル刃(上)の違い (写真のドリル刃の径はどちらもφ0.35mm)

※「清吉ドリル」は軸径φ1.0mmのルーマー形ドリル刃専用なので、一般的なドリル刃は使用できません。

※ドリル刃は金属板への穴あけを繰り返すと、徐々に刃先が鈍ってきます。鈍ってくるとプラスチック材料への穴あけの際に摩擦熱が多く発生し、穴あけ部が融けてドリル刃に付着するようになるので、金属用とプラ用でドリル刃を使い分けるようにするとよいでしょう。

←商品の梱包形態

ポリプロピレン製のドリル専用のケース入りです。陳列時、購入後のドリル刃の折損を防ぎます。ケースには最大10本のドリル刃が収納可。店頭での陳列に便利な吊り下げタグ付きのポリ袋入りです。



■No.3100 ダミー電池 500円(税抜き)

「清吉ドリル」付属の電池ボックス専用の端子間ショート用のダミー電池です。

プラスチック材料への穴あけの場合、3V電源では回転数が高すぎて摩擦熱で穴あけ部が融けてしまう場合があります。ダミー電池と電池1本を入れ、電源を1.5Vとして回転数を下げることので穴あけ部が融けるのを抑制できます。



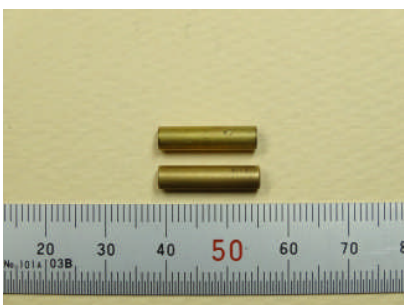
←「清吉ドリル」付属の電池ボックス内の単3電池1本と入れ換えた状態

※「ダミー電池」は「清吉ドリル」専用のパーツです。ほかの電気製品では絶対に使用しないでください。

※品番No.3026の「ダミー電池」は仕様変更のため廃番となりましたので、今後はNo.3100「ダミー電池」をご利用ください。

■No.3024 清吉ドリル専用「ドリルホルダー」(2本入り) 1,200円(税抜き)

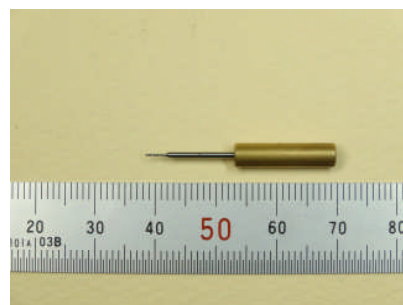
「清吉ドリル」本体の回転軸にドリル刃を接続するための部品です。ドリル刃を抜き差しするとドリルホルダーの内側が少しずつ削れていくので、しっかりと固定できなくなったら新品に交換してください。



↑ドリルホルダーは真鍮製で2本セットでの販売です。



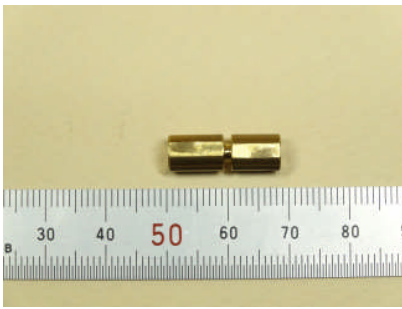
↑ドリルホルダーとドリル刃を1組として使用すれば磨耗が少なくなり長持ちします。またドリル刃の差し替えや管理がしやすくなります。



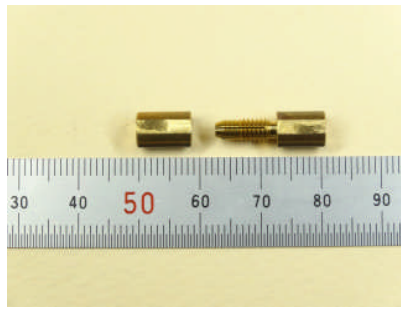
■No.3101 新型ドリルホルダー (1個入り) 2,000円 (税抜き)

「清吉ドリル」本体の回転軸にドリル刃を接続するための部品です。ドリル刃を抜き差しする際にドリルホルダーが削れないようにチャック部を緩めることができます。

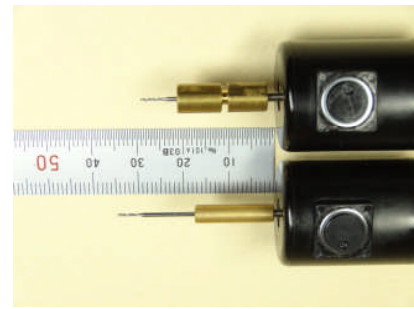
※「新型ドリルホルダー」は軸径φ1.0mm専用です。それ以外の軸径のドリル刃は装着できません。



↑新型ドリルホルダーは真鍮製です。



↑チャック部とカバー部の2ピース構成



↑新型ドリルホルダー(写真上)を使用するとドリル刃の先端が手元に近くなるので作業しやすくなります。

■清吉ドリルのセットアップ手順



▲電池ボックスのフタを開けます。



▲電池ボックス内に表示された向きに単3電池2本を入れます。



▲プラスチックに穴あけするときにはダミー電池を入れます。



▲電池ボックスのスライドスイッチを「ON」側にします。



▲本体端部に電池ボックスの電源プラグを差し込みます。



▲本体の回転軸にドリルホルダーをしっかり差し込みます。



▲使用する径のドリル刃をドリルホルダーに差し込みます

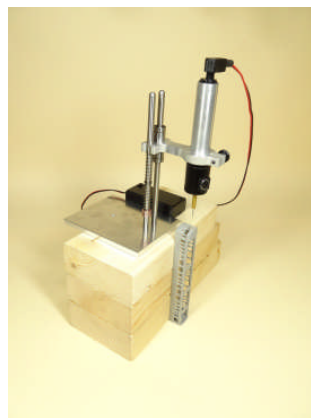


▲外すときにはペンチでドリル刃をつかみ、まっすぐ抜きます。




削りカスの融着を防止するには、こまめにドリル刃の削りカスを取るか、ダミー電池を利用して回転数を下げて使用します。一気に穴あけをするのではなく、段階的に切り込んでいくことでも削りカスの融着の抑制することができます。

■プラスチック材料へ連続した穴あけや、ゆっくりと穴あけをすると削りカスが融けて写真のようにドリル刃に団子状に付着することがあります。付着したときにはデザインナイフなどで慎重に取り除いてください。



■ヒント①/専用スタンドを組み合わせて穴をあける場合、左写真のようにホルダー部を逆向きにセットし、安定した台の上に置くと、背が高いものに垂直に穴あけができるようになります。
■ヒント②/市販のACアダプター(プラグの形状/φ5.5×2.1mm、極性/センター+, 出力/DC3V)も利用できます。
■ヒント③/回転数は落ちますが、市販の単3型充電池も利用できます。

メーカー名 :  α-model [販売・製造 (有)ムラヤマ精密、(有)プライト]
[企画・監修 (β-PRODUCTS)]

ホームページ : <http://mskanagata.com/a-model/>

問い合わせ先 : e-mail: a-model@mskanagata.ne.jp